



八峰町9月議会定例会

町長の行政報告をお知らせします

八峰町9月議会定例会が6日から17日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

新型コロナウイルス ワクチン接種の状況

町における65歳以上の方々へのワクチン接種は、8月24日現在、1回目の接種を終えた人が2,868人で接種率91.3パーセント、同じく2回目の接種を終えた人は、2,828人、90.0パーセントとなっております。希望する高齢者の方々へのワクチン接種については完了できたものと考えています。

これは、個別接種について、能代市山本郡医師会が体制を整え、集合契約により30医療機関で接種が出来るようにしたことや、町営診療所で火曜日から金曜日の診療日に通常診療の合間に接種を行ったことにより、達成できたものと感謝申し上げます。

あわせて、接種会場までの町営診療所のバス運行、乗り合いタクシーでの無料送迎、大型バスの待合室代用などにより、7月から始めた16歳以上64歳以下の接種も順調に進んでおります。

8月24日現在、1回目接種が51,000パーセント、2回目接種が33,600パーセントとなっております。この年代の接種者と予約者を合わせた予約率は78.5パーセントとなっております。

これらのことから、毎週土曜日に峰栄館で行っている1日最大300人の集団接種の1回目の予約は、9月7日で締め切ることとし、2回目の接種は9月28日で終了することといたしました。

なお、町営診療所における接種は、引き続き継続するとともに、妊産婦への接種については、パートナーも含めて配慮するなど、より効果的な接種に

努めてまいります。

また、12歳以上15歳以下の小児への接種については、小児科医の確保やプライバシーの保護の観点から、各医療機関による個別接種にて行うこととしております。

町民の皆様におかれましては、接種が終わったからと言って安心することなく、引き続き県外との不要不急の往來の自粛、三密の回避、日常会う人以外の方々との接触の自粛、マスクの着用と小まめな手洗い消毒など感染予防対策の徹底をお願い申し上げます。



集団健康診査を実施しました

昨年度、新型コロナウイルスの感染拡大を受け中止した集団健康診査を6月16日から行いました。

昨年度より、健診事業委託先が秋田県総合保健事業団となり、感染症対策を講じながら、1日最大160人に人数を制限し、ファガス文化ホールを会場に6日間行いました。

40歳以上74歳以下を対象とした特定健康診査の受診者は237人、75歳以上は142人、39歳以下の一般健診が38人、合わせて417人の受診となりました。

同じ日程で実施したがん検診は、肺が510人、大腸が507人、前立腺

昨年に引き続き 敬老式は中止となりました

例年9月上旬に行っていますが、昨年度は新型コロナウイルスへの感染拡大を受け中止とし、今年度は対象者が概ねワクチン接種が完了していることから、同時期の開催に向け準備を進めていたところ、能代保健所管内も含めて秋田県内の感染者が急激に増加していることから、昨年度に引き続き、中止することといたしました。

今年度は、各種がん検診のワンコイン受診や、特定の年齢を対象とした検診費用の無料クーポンの発行、未受診者に電話で受診を勧奨するコールセンター業務を実施するなど、受診率の向上に取り組んでまいります。

また、今年度から町営診療所でも特定健診を受診できるようになり、都合がつかなくなった方々にも年1回の健康診査の受診機会を提供できるようにいたしました。

9月議会定例会に 提出した主な議案

八峰町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例制定について

八峰町過疎地域持続的発展計画の策定について

令和3年度八峰町一般会計補正予算 2億2,195万9千円を増額追加した主な歳出

町内巡回バスの試行運転業務委託料、5月17日発生の豪雨災害復旧工事費など

令和3年度各特別会計補正予算 八峰町介護保険事業勘定 679万5千円を増額ほか2会計

令和3年度各事業会計補正予算 八峰町下水道事業 3,600万円を資本的収入および支出へそれぞれ増額

令和2年度八峰町一般会計歳入歳出決算認定について

道の駅はちもり 移転に向けた懇談会

「道の駅はちもり」は、平成6年に簡易パーキング「お殿水」として供用開始して以来、休憩施設のほか湧水を汲みに訪れる観光客からも親しまれてきました。

一方、近年の道の駅は本来の休憩機能に加え、産地直売施設や温泉施設、フードコート等が整備されるとともに、多様化する観光客のニーズに応えられる環境や防災拠点としての機能が求められております。

町では、これまで御所の台エリアの活性化について意見交換会を実施してきましたが、実際に道の駅を移転することを前提に、より具体的な意見交換が必要と考え、「道の駅はちもり移転に向けた懇談会」を開催いたしました。

第1回懇談会は7月2日に交通事業者や観光事業者を対象として開催し、利用者側から見た利用しやすい道の駅の要件等について、様々なご意見をいただきました。

第2回懇談会は8月3日に御所の台エリアの関係者を対象として開催し、関係者の皆さんにメリットを及ぼすような道の駅のあるべき姿について、ご意見をいただきました。

懇談会では、トイレ等の設備に関する要望、温泉を活用した足湯の設置、ハタハタ館や産直ぶりこ等周辺施設との連携や観光ルートの可能性など、様々なご意見やご提案をいただいております。

これらのご意見をキーワード的に整理すれば、御所の台エリアの立地条件を生かした「日本海と夕日が見える

道の駅「温泉がある道の駅」「鉄道の駅がある道の駅」などが考えられますが、今後、事業者と地域関係者による合同懇談会を開催し、更に内容を詰めていくとともに、国や秋田県と移転に向けて協議してまいります。また、全体計画をまとめる専門家の活用も検討してまいります。



全国トップクラス 全国学力・学習状況調査

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて実施されませんでした。今年度は5月27日に実施され、結果が8月31日に公表されました。今回、小学6年生は国語・算数、中学3年生は国語・数学のテストが実施され、秋田県は、小学6年生、中学3年生とも全国トップクラスの結果でした。当町の状況を申し上げますと、小学

6年生および中学3年生のいずれも、全国トップクラスの秋田県の平均正答率を大きく上回った結果でした。

良好な結果に甘んじることなく、調査結果から明らかになった課題に対して、教育委員会、学校等が連携して教育活動等の改善に取り組んでまいります。

ことぶき大学 今年度の事業は中止となります

ことぶき大学開講43年目を迎えた今年度は、新入生2名を含む340名の受講申し込みがありました。

受講者数は昨年度に比べ若干少なくなりましたが、それでも町内の小中学校3校を合わせた児童生徒数を大きく上回り、町内高齢者の方々の、生涯学習に寄せる意欲の高さを感じています。

昨年度は全ての事業が中止となり、大変残念に思っております。今年度は、高齢者のワクチン接種が順調に進んだこともあり、例年6月から始まる各事業を延期し実施する予定であります。

しかしながら、先般、第5波といえる新型コロナウイルス感染症の拡大がこれまでに及ぶかに速いスピードで全国に広がり、県内でも複数のクラスターが発生し、また能代保健所管内でも感染拡大が見られたことから、今年度も全ての事業を中止する方向で検討を進めております。

事業への参加を心待ちにされていることぶき大学生の皆様には、大変なご迷惑をお掛けすることになってしまいました。ご理解いただきますようお願い申し上げます。